



イラスト：横浜市立大学 国際教養学部 国際教養学科 1年 美術部所属 枝川 愛理

会長挨拶

横浜市立大学後援会 会長 原口 淳



皆さま、こんにちは。

先ずは8月にオンラインで行われた保護者説明会へのご参加並びにその後のアンケート調査へのご協力に心より感謝申し上げます。いただきました貴重なご意見は大学側とも共有の上、今後の後援会活動に出来る限り反映して参ります。

この原稿を書いている10月末時点では緊急事態宣言並びに飲食店営業規制も大きく緩和され、街の賑わいも戻りつつあります。果たしてこのまま新型コロナウイルス感染が鎮静化に向かうのかは不明ですが、ワクチン接種の更なる進捗と経口治療薬の普及が待たれます。私たちもマスク着用や手洗いなどの感染予防をWithコロナの生活習慣として定着させながら以前の暮らしを取り戻していきたいものです。学生の皆さんにはこれまで制限されてきた対面授業やキャンパスライフを取り戻し、多くのリアル体験ができる事を願っています。

コロナ禍で気付いたことがいくつかあります。1つは人とのつながりの大切さです。以前は仕事でもプライベートでも人と会うことは当たり前でしたが、人に会う機会が激減した今では、人と会えることの有難さを感じるとともに、相手のことをより深く考える様になりました。2つ目は、日々の生活の大切さです。一日家に居て家事に参加することで家事の大変さ、そもそも家事には終わりも休みもないことを実感しました。今頃気付いたのか、遅い…………ですよね。（苦笑）

またそうした日々の営みの繰り返しにこそ平穏な幸せが宿ることにも気付きました。

今後も新型コロナウイルスが一掃されることはないかもしれません。コロナ禍の制約を嘆くのではなく、そこでの気付きや今出来ることに注目し、日々の生活を充実させていきたいものです。

後援会としては保護者の方々との双方向コミュニケーションの大切さを実感しており、より良いコミュニケーションのあり方を模索いたします。後援会としてこれまで積み重ねてきたことを基盤とし、学生に寄り添いながら更なる事業の充実に努めて参ります。

今後とも皆さま方のご理解、ご支援をお願い申し上げます。

最後に皆さまご家族のご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

学長挨拶

横浜市立大学 学長 相原 道子

横浜市立大学後援会の皆さまには、平素より本学へのご支援をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

横浜市立大学は、この数年で学部・研究科の再編・新設をはじめとする大学改革に取り組んできました。現在は、2023年より開始する第4期中期計画策定(2023~2028年度)に係る議論とあわせて、新たな時代に即した大学教育の構築と大学全体の発展を目指して各学部・研究科における将来構想・グランドデザインを検討しています。また、2028年に迎える100周年事業の充実も検討を重ねています。

9月に発表された「THE世界大学ランキング2022」においては、世界に影響を与える研究力の高評価(被引用論文数の増加)などが寄与し、本学の総合スコアは10ポイント以上上昇、初の世界トップ500位入り(国内大学7位タイ、公立大学ではトップ)と躍進しました。今後は、研究力のさらなる強化と産学連携による共同研究などの一層の展開により、イノベーションの創出を目指していきます。

また、新型コロナウイルス感染症における対応では、8月から9月にかけて16日間にわたり、学生、教職員、教職員親族、金沢区役所職員等4,000名以上へ2回ずつのワクチン大学拠点接種を行いました。さらに、近隣の企業や大学での職域・拠点接種に本学の医師、看護師、薬剤師を派遣するなど、学外で行われるワクチン接種にも貢献しています。また、本年は附属病院の前身となる病院から数えて開院150周年を迎えるました。現在、新時代の要請に則した機能充実に向けて、新病院と医学部の移転拡充を計画しています。

後援会の皆さまには、これまでにも学修活動やクラブ活動への支援、留学や就職関係事業、さらには新型コロナウイルス感染防止対策など、幅広いご支援を賜り、ありがとうございました。

今後も、教育・研究・医療の各分野でリードしていくことを使命とし、社会の発展に寄与するとともに、市民の誇りとなる大学づくりを進めて参ります。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

後援会副会長挨拶

国際商学部長 大澤 正俊

横浜市立大学後援会の皆さまにおかれましては、本学の教育・研究にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。本年度の新入生は、国際教養学部288名、国際商学部273名、理学部123名、データサイエンス学部63名、医学部医学科90名、医学部看護学科106名です。新たに後援会会員となられました新入生保護者の皆さまにおかれましては、本会の趣旨をご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願いします。

本年7月定時総会におきまして、原口淳氏(本学商学部S54卒)が新会長に就任されました。グローバル企業での豊富な海外勤務とリーダーとしてのご経験を活かされ、本会を益々発展させてくださると期待しております。よろしくお願い申し上げます。

矢部丈太郎会長(本学商学部S36年卒)におかれましては、5年に亘り学生への学修・キャリア・海外支援など各種事業で本学の発展にご協力をいただきました。特に昨年、教室・ゼミ室への換気扇設置などの新型コロナウイルス感染症対策、緊急支援の迅速な対応によって、本学の対面授業を予定どおり再開できました。矢部会長の本学への長年にわたるご協力に改めまして御礼申し上げます。

さて、本年は4月5日、新入生と教職員による入学式からスタートし、対面授業とオンライン授業を有効活用し、教育・研究・クラブ活動などを「学生の健康と安全を最優先」とした上で行っております。

本学の特色は、主体的に課題を発見し、その課題を解決する力を育てる「教養教育」と、世界中の人々とのコミュニケーションを可能にする英語力を身につけ、国際的視野を涵養する「グローバル教育」です。コロナ禍の現在は、オンライン海外研修、オンライン海外インターンシップの実施にとどまっておりますが、今夏実施しました、ウェスタンオンタリオ大学(カナダ)カスタマイズプログラムには48名が参加しました。今後は、世界情勢を含め渡航のための安全確認を慎重に行い、海外研修、インターンシップの渡航プログラム再開を判断して参ります。

これからも、横浜市立大学に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。



「SDGs 目標 12」の課題解決を視野に入れた 横浜市立大学の「食の支援」



学生への「食の支援」

本学では、コロナ禍により、生活費を賄うアルバイト収入の減少などで厳しい生活を送っている本学学生を対象に、食料品を届ける「食の支援」を継続的に実施しています。

この「食の支援」は、フードロスなどの社会課題に取り組む団体、企業や行政からの支援ほか、学生への経済的支援のために大学に寄せられた「新型コロナウイルス対策基金^{*1}」の寄附金を活用して実施しています。

＜令和3年度 学生への食の支援＞

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/volunteer/shokushien.html>



「食の支援」実施会場の様子

今後の展開

本学では、地域で「食」を考える『循環型「食」の協働プロジェクト』を目指して、次の取り組みを実施しています。

■ 「SDGs目標12」の課題解決を視野に入れた「食の支援」について

継続的な「食の支援」を実施するとともに、いつもご寄附いただいている公益社団法人フードバンクかながわにおけるボランティア活動（食料品の仕分け作業）を学生に呼びかけています。支援を受ける学生も受けない学生も、このボランティア活動を通じて、「フードロス」の課題とともに、地域にも支援を必要としている方が多くいるという現状に触れ、感じることで、社会の課題に向き合い、学びを深めます。

また、「食の支援」を受ける学生が、ネガティブに捉えるのではなく、“受けること”自体が「フードロス」の削減に役立っていることを実感してもらえるよう伝えていきます。

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/volunteer/shokushien/SDGs.html>



フードバンク・ボラツアー参加の様子

■ ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch（ボランチ）」の活動

「フードバンク・ボラツアー」

8月23日（月）・24日（火）の2日間、Volunchによるフードバンク・ボラツアー^{*2}を実施しました。当日の活動（食料品の仕分けや米の再精米・袋詰めなど）のほか、事前オンライン交流会として、ボラツアー参加者及び、「フードロス」に関心のある学生（合計18名）が、フードバンクかながわ・藤田事務局長による『フードバンクかながわの活動と、フードロスと貧困』についての研修を受けました。

参考

*1 新型コロナウイルス対策基金

新型コロナウイルス感染症患者の治療にあたる本学附属2病院や、学生への経済的支援のため2020年5月から設置。皆さまからのご寄附の総額は2021年8月末時点で約7,500万円に達しました。

*2 ボラツアー

ボランティアに初めて参加する学生の不安をできる限り少なくするため、「Volunch」が一緒にボランティア活動に参加するプログラム。ボランティア活動の当日だけでなく、事前交流会（準備）、事後交流会（振り返り）を実施し、一連のサポートを行うことで、ボランティア経験が少ない学生も安心して活動に取り組んでもらえます。

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/volunteer/volunch/voltour.html>



保護者説明会報告

令和3年度後援会主催保護者説明会の開催報告について

本学の教育・研究や学生支援の取り組みについて紹介することで、学生が安心して学べる大学として保護者からの信頼を深めることを目的に、平成24年度から「YCU保護者説明会」を毎年度開催しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を見送りましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めてオンラインにより開催しました。

至らぬ点も多々ございましたが、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

開催概要

(1) 日程
2021年8月29日(日)
13時から15時まで

(2) 会場
みなとみらいサテライトキャンパスから配信 (Zoomのウェビナー機能を使用)

(3) プログラム

開始	終了	内容	
13:00	13:05	主催者挨拶(5分)	原口後援会長
13:05	13:10	学長挨拶(5分)	相原学長
13:10	13:45	基調講演(35分)	原口後援会長
13:45	14:20	キャリア支援プログラムについて(計35分) ①プログラムの概要説明(10分) 現在の取り組み及び今後の方向性 ②海外インターンシップ参加学生報告(15分) ③質疑への回答(10分)	・キャリア支援担当職員 ・海外インターンシップ参加学生
14:20	14:50	令和3年度の海外研修支援事業について(計30分) ①プログラムの概要及び今後の動向(20分) ②質疑への回答(10分)	・グローバル推進室担当係長
14:50	14:55	事務連絡(質疑への回答を含む)	後援会事務局

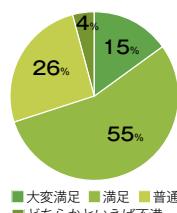
アンケート結果 (当日参加者対象 (回答者142名 (回答率 63.7%))

学部・研究科名	人数(人)
国際総合科学部	5
国際教養学部	58
国際商学部	41
理学部	15

データサイエンス学部	9
医学部医学科	7
医学部看護学科	6
都市社会文化研究科	1
合計	142

学年	人数(人)
1年	86
2年	34
3年	14
4年	7
5年以上	1
合計	142

保護者説明会全体について



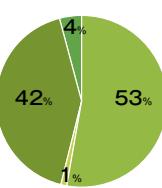
(主なコメント)
・入学式もなく、一度も大学内に入ったことがないため、実際の環境が分からにくかったが、今回声で説明を聞くことができ、理解できた部分が多くあった。
・基調講演が興味深かった。就職、留学支援について大学の取り組みがわかった。
・遠方でも参加することができました。
・オンラインでの開催のため、学校まで行く必要がなく、また家族全員で聞くことができました。
・今後の授業についてなどの方向性がハッキリ言えないところがあるのは理解できるが、1番知りたい所が知れず物足りなさを感じた。

保護者説明会全体の開催時間について



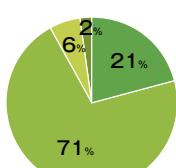
(人)
長い
どちらかというと長い
適切
どちらかといえば短い
短い

オンラインで保護者説明会を開催することについて



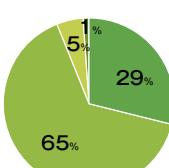
(人)
オンラインでの開催がよい
対面での開催がよい
対面参加またはオンライン参加を選べるとよい
どちらとも言えない

キャリア支援プログラムについて



(人)
とても参考になった
参考になった
あまり参考にならなかった
参加しなかった

令和3年度の海外研修支援事業について



(人)
とても参考になった
参考になった
あまり参考にならなかった
参加しなかった

定時総会報告

令和3年度定時総会（書面決議）の結果について

令和3年度横浜市立大学後援会定時総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面による開催を中止し、書面による決議で定時総会での承認に替えることとしました。

8月10日必着で会員3,910名のうち958名（回収率25%）から回答票がご提出され、全議案について承認されましたのでご報告いたします。（表1参照）

また、今回の議決に際し、保護者の皆さまから後援会に対する多くのご意見をいただきました。誠にありがとうございました。ご意見への回答を含めた今後の取り組みについて下記ご報告させていただきます。

■表1 書面決議結果

	回答数	承認率
第1号議案承認 令和2年度事業報告および決算	954	100%
第2号議案承認 令和3年度事業計画および予算	955	99.58%
第3号議案承認 役員の選任	955	100%
第4号議案承認 会則の改正	954	99.79%
回答者数（人数）	958	

■今後の取り組みについて

令和3年度後援会定時総会書面決議に際しまして、保護者の皆さまから議案に関する貴重なご意見・ご質問・ご要望をいただきましたとともに、心強い激励のお言葉をいただきました。誠にありがとうございました。本来であれば個別にお答えをさせていただくべきところですが、紙面の都合上、包括的にお答えをさせていただきますことを何卒ご容赦いただきたく存じます。

まず、令和3年度事業計画・予算につきまして、最もご要望・ご意見の多かった海外研修支援事業に関しましては、令和2年度に参加を希望していたにも関わらず断念せざるを得なかつた学生を救済するため、令和3年度の同事業の対象者数を増やし実施したいとの要望を受けまして、令和3年度予算に当該事業費の未執行分を繰り越しました。残念ながら夏季休業期間終了までに渡航する短期プログラムの実施は見合わせることとなりましたが、上記学生の救済や、オンラインプログラムの開発に取り組んだ他、6月に発出された文部科学省の通知（感染症危険情報がレベル2もしくはレベル3における海外渡航の前提を示すもの）に基づき、学生の安全に万全を期したうえで、2021年秋の長期留学を再開しました。

次に、対面授業再開に関しまして、多数のご要望をいたしておりますが、令和3年度前期につきましては全授業の約7割を対面で行いました。今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、十分な感染防止対策を講じた上で学修機会の確保に努めるほか、オンライン授業につきましても十分な学修効果が得られるよう、引き続き研鑽に努めて参りますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

また、コロナ禍においても学生同士のつながりや人間形成を育むことは極めて重要であると考えております。そのため、令和3年度は対面授業の対象科目を主に1年次生が受講する共通教養科目のみならず、主に2年次生から4年次生が受講する専門科目にまで広げました。なお、個人がおかれている環境により、オンラインで参加せざるを得ない場合には、柔軟に対応して参ります。課外活動については、大学が策定したガイドラインに基づいて活動申請書や報告書の提出を義務付け、感染防止対策を徹底した上で活動を許可しております。

最後に本総会の資料につきましては、より分かりやすい構成・内容となるよう心掛け、費用節減にも努めて参ります。以上がお答えとなりますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

横浜市立大学 キャンパスライフ紹介 MOVIE～横浜市立大学で出来ること～



横浜市立大学のキャンパスの雰囲気や、活き活きした学生たちの表情をご紹介したMOVIEです。学生同士はもちろん、少人数制を活かした教員と学生の距離の近さ、学生それぞれの充実したキャンパスライフをご覧ください。

<https://www.youtube.com/YokohamaCityUniv>



8月29日(日)の保護者説明会の開始前に流していた映像です。
当日音声が再生されないという不具合が発生いたしましたことお詫び申し上げます。

学術情報センター

金沢八景キャンパス学術情報センターでは、学修・研究にかかる様々な情報やサービスを提供し、学生の多様な学修スタイルをサポートしています。

<所蔵資料>

図書: 約70万冊

雑誌: 約1万4千タイトル

電子ジャーナル: 約2万2千タイトル

<ご利用時間>

通常開館	平日（授業期）	9:00 ~ 21:00
土日開館	土曜・日曜（日は試験期のみ）	9:00 ~ 17:00
短縮開館	休業中の平日など	9:00 ~ 17:00
休館日	祝日、年末年始ほか	——

※新型コロナウイルスの感染状況により、サービス内容に変更が生じる場合があります。



400席を超える閲覧席のほか、情報探索やレポート作成に利用できるパソコンやグループ学修に活用できるスペースを備えています。

新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、大学に来校できない学生の学修・研究をサポートするため、昨年度に引き続き資料の郵送貸出サービスを実施し、「遠方からも利用できて大変助かる」との声をいただいています。

そのほかにも、LINEなどを活用したオンラインレファレンスの実施、「学術情報センターの使い方」「レポート作成の方法」などの各種ガイダンス資料・動画のホームページ掲載、電子ブックの整備などを進め、「来館しなくても使える図書館」として学生の学修・研究を支援しています。

<後援会からの図書寄贈>

後援会から毎年多くのご支援をいただき、学修・研究環境を一層、充実させています。寄贈図書の中でも資格や就職活動に関する図書は、学生が多く利用するスペースに並べています。そのほか、学生の日常生活を豊かにする料理本や小説など、多くの資料が頻繁に利用されており、学生生活にも大いに役立っています。



昨年度に引き続き有志の学生による「学生選書」を行い、学生の希望をより反映させた図書をご寄贈いただいている。 (左は募集周知ポスター)

ゼミ活動

「オンラインとオフラインそれぞれの利点を活かした学修」

国際商学部 国際商学科 3年 本田 龍司

吉永ゼミ（経営組織論）では、令和2年度から、コロナ禍の下でも学修の質を維持するために、オンラインとオフライン、それぞれの利点を活かした学修に取り組んでいます。吉永ゼミでは、カナダにあるヒューロン大学で日本語を学ぶ学生と合同で、オンラインでの英会話クラブと日本語会話クラブを同時に運営しています。毎回40人前後の多様な国籍やバックグラウンドを持つ学生がバーチャルな場に集い、英会話クラブでは英語で、日本語会話クラブでは日本語で、各々の趣味や日常生活などの会話を重ねています。その会話の中で、自身の文化の奥深さや異文化間の共通点を見発見することを楽しんでいます。



その一方で、吉永ゼミの活動の土台である英語でのダイアログ（対話）は、感染防止対策を講じた上で、オフラインで実施しています。専攻である経営組織論の学びを通じて自らが設定した「問い合わせ」を基に、他のゼミ生の考えを聴いたり、自分自身の考えを話したりすることで、自分自身の思い込みに気づき、その気づきの中から新しい考えを着想するまでのダイアログの一連の流れを、吉永ゼミでは全て英語で実践しています。リアルな場で、話している相手の表情や言葉の持つニュアンス、その場の雰囲気を読み取り合うことを大切にしています。



吉永ゼミでは、社会人パートナーと一緒にして社会（地域）課題にチームとして取り組む「社会とのつながり」活動を長年実施しています。当活動に対するコロナ禍の影響は甚大でしたが、鳥取県智頭町の関係人口創出、フードロス、世界各国の食文化のSNS発信などのテーマに取り組みながら、オンラインとオフラインを組み合わせた活動の在り方を模索しています。

吉永ゼミが今後も継続的に発展していくためには、変化し続けていかなければなりません。私たちは、これからも様々な環境の変化を前向きに捉えて、ゼミ生の成長とゼミの発展の両立を目指して活動していきます。

グローバルな視野を持ち、世界で活躍する人材を育てるため、本学では海外での様々な学びや実践の場を提供しています。後援会からのご支援を受け、海外で様々な体験を重ね、多くのことを学んだ学生たちからの体験談をお届けします。

令和3年度も学生からの多種多様なニーズに応えるべく、ルーヴァン・カトリック大学サンルイ・ブリュッセル校（ベルギー）、ヒューロン大学（カナダ）などの大学と交換留学を中心に新たなプログラムを増やしました。

海外留学・研修プログラム	
募集枠 (予定)	プログラム名
交換留学	2 ド・モントフォート大学（イギリス）
	2 リーズ・トリニティ大学（イギリス）
	5 ベネチア大学（イタリア）
	3 リヨン第3大学（フランス）
	3 ゲーテ大学（経済経営学部）（ドイツ）
	2 ゲーテ大学（社会科学部）（ドイツ）
	3 ウィーン大学（オーストリア）
	2 ナバラ大学（スペイン）
	2 サンティアゴ・デ・コンポステラ大学（スペイン）
	1 マドリード・コンプレンセ大学（スペイン）
	2 オレブロ大学（スウェーデン）
	1 ハルムスタード大学（スウェーデン）
	3 オウル大学（フィンランド）
	1 エトヴェシュローランド大学（ハンガリー）
	2 ヤグウォー大学（ポーランド）
	2 中東工科大学（トルコ）
	2 ウィーバー州立大学（アメリカ）
	1 サンディエゴ州立大学（アメリカ）
	1 サザン・メイン大学（アメリカ）
	1 ニューヨーク州立ストニーブルック校（アメリカ）
	5 モントリオール大学（カナダ）
	3 メモリアル大学（カナダ）
	1 上海師範大学（中国）
	2 北京師範大学〈漢語文化学院〉（中国）
令和3年度 新規募集	2 東海大学（台湾）
	1 国立政治大学（台湾）
	2 仁川大学校（韓国）
	3 高麗大学校〈世宗キャンパス〉（韓国）
	1 淑明女子大学校（韓国）
	2 タマサート大学（タイ）
	1 チェンマイ大学（タイ）
	1 マレーシア科学大学（マレーシア）
	1 ルーヴァン・カトリック大学 サンルイ・ブリュッセル校（ベルギー）
	2 セントクラウド州立大学（アメリカ）

短期語学 研修 夏季講座	サイモンフレーザー大学夏季語学研修（カナダ）、 ダブリンシティユニバーシティ夏季語学研修（アイルランド）、UCLA夏季講座（アメリカ）
長期派遣	ブリッジプログラム、セメスター留学

海外フィールドワーク支援プログラム		
所属	参加 学生数 ※	主な渡航先
共通教養	14	シンガポール（ジュロン）
	20	イギリス（ロンドン）
国際教養学部	20	シンガポール（ジュロン）
	10	ケニア（ナイロビ）、マラウイ（リロングエ）
	18	ケニア（ナイロビ）
	15	中国（西安）
	16	タイ（プーケット）
国際商学部	17	アメリカ（ニューヨーク）
	8	メキシコ（テスココ・ティオワカン・メキシコシティ・レオン・グアナファト・ラパス）
理学部	11	台湾（台北）
	11	台湾（台南）
データサイエンス 学部	10	アメリカ（サンディエゴ）
	10	台湾（台北）
生命環境システム 科学専攻	12	シンガポール（ジュロン）
	12	シンガポール（ジュロン）

※令和2年度及び令和3年度のプログラムは新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止となりました。なお、一部をオンライン形式で実施しました。

海外インターンシップ		
○春季 (R3.2 ~ 3月) ※		
国・都市名	参加 学生数	実習先企業
中国・上海	5	上海良図商務諮詢有限公司 (LT上海)
カンボジア、ベトナム、 マレーシア	8	イオン株式会社

○夏季 (R3.8 ~ 9月) ※		
国・都市名	参加 学生数	実習先企業
シンガポール	1	Culture Connection
カンボジア	1	Daishin Trading Cambodia Co.,Ltd
ウガンダ	2	特定非営利活動法人コンフロン トワールド
セネガル	1	Gueneu
米国・シカゴ	1	Sysmex R&D Center Americas, Inc.
カンボジア、ベトナム、 マレーシア	2	イオン株式会社

※新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い海外渡航が制限されたため、オンライン形式で実施しました。

コロナ禍の留学について

オンラインプログラムの発展と渡航の再開

新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態は、学生の留学に大きな影響を与え、本学でも令和2年度は渡航プログラムを中断せざるを得ませんでした。

しかし、コロナ禍の中で新しく生まれたプログラムもあります。令和2年度より開始したカナダのウェスタンオンタリオ大学の英語+ビジネス科目を学ぶオンラインプログラムは、今年度は50名近くの学生が参加するなど、人気のプログラムとなりました。そのほかにも文化交流プログラムやオンラインでの国際共修が活発に行われ、オンラインプログラムが国際体験の新たな方法の一つとして、今後の発展が期待されます。

さらに今年度の秋からは、交換留学などの長期プログラムも再開されました。本学でのワクチン接種支援、渡航先大学との感染防止にかかる綿密な調整などを経て、22名の学生が渡航しました。学生からの留学報告には、現地学生との交流による新たな発見、日本とは異なる生活環境での驚きが生き生きと綴られており、コロナ禍という制約下にありつつも、充実した学びを得られている様子が伺えます。

本学は、今後も渡航、オンラインの様々ななかたちで国際交流の機会を拡大させて参ります。

プログラム紹介：交換留学プログラム

交換留学プログラムは、半年もしくは1年間の留学を通じて、高い専門性、幅広い視野、国際性を身に着ける留学プログラムです。渡航先大学の学費が不要であることや、留学しても4年間で卒業できるなど、様々なメリットがあります。

渡航先の1つである高麗大学校は、韓国名門大学の一つで、静かで豊かな学修環境のもと、様々な国から集う学生と交流しつつ、自身を磨くことができる大学です。

令和3年度渡航学生体験談

韓国：高麗大学校 交換留学プログラム

国際商学部 国際商学科 3年 堀 清香

私は、英語と韓国語の力をつけること、専攻している経営学を外国の視点で学ぶこと、そして視野を広げたいという思いで1年間の高麗大学への交換留学に参加しました。留学生はアメリカ、メキシコ、スペイン、フランス、トルコ、ベネズエラ、香港、日本からの16人です。留学生同士と一緒に過ごすことが多く、日常生活は英語、現地の友人やお店は韓国語です。留学生と過ごす中で文化の違いを感じることもありますが、国や言語は違っても日本での友達との楽しい会話と変わらないことを実感するなど、学びや発見が多く毎日が充実しています。経営学の授業ではディスカッションや発表含め全てが英語で最初は不安でしたが、授業中は一言でも多く話す、質を高めることを目標に予習することで慣れてきました。コロナ禍にも関わらず安全に交換留学に参加できること、日本人のいない環境で1年間過ごす貴重な機会を得られたことに感謝しています。残りの留学生活も1日1日を大切に過ごしたいと思います。



高麗大学校キャンパス アジアでも有数の規模を誇る図書館



韓国の文化に関する授業のフィールドトリップより

海外インターンシップ

実習先：イオン株式会社



国際教養学部 国際教養学科 3年 大園 桃香

2021年8月に、イオン株式会社の海外インターンシップ（オンライン形式）に参加しました。

私は卒業後、様々なバックグラウンドを持つ人達が暮らしやすい社会に貢献していきたいと考えており、日常生活に密接に関わる小売業という視点から、どのようなアプローチができるかを学びたいと思い、参加を決めました。

実習では、国内外におけるイオンさんの取り組みや理念、戦略について学び、最終的にはグループワークとして新規事業の提案を行いました。また、留学生

や他大学の学生との交流機会もあり、新たな視点や考え方を学ぶことができました。そのほか、海外事業であるマレーシアやベトナムの職員との交流や現地の様子、戦略を学ぶ機会もありました。

コロナ禍という状況ですが、国内外の社員の方や他大学の学生とオンラインで交流し、有意義な2週間となりました。このたび、このような経験ができる機会をいただきました後援会の皆さんには心より御礼申し上げます。

アカデミックコンソーシアム

2021年10月16日（土）、アカデミックコンソーシアム（IACSC）* 第12回総会および国際シンポジウムが、横浜市第10回アジア・スマートシティ会議と連携し、横浜市立大学の主催で開催されました。横浜みなとみらい地区にある横浜市国際局Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO（ガレリオ）を発信拠点とし、アジアの海外5大学と結び、オンラインハイブリッド方式で行われました。「共創都市～パンデミック後の課題解決に向けて：大学とIACSCの役割を考える」を全体テーマとしたシンポジウムでは、本学の相原学長によるオープニングメッセージをはじめ、アジア開発銀行駐日代表事務所の児玉治美代表、データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻長の後藤温教授による基調講演が配信されました。また、パネルディスカッションでは、海外大学（マレーシア科学大学、フィリピン大学、ベトナム国家大学、ハサヌディン大学（インドネシア））の研究者により、アカデミックコンソーシアムのこれまでの11年間の振り返りや今後の抱負について意見交換が行われました。当大会を盛会に終えつつ来年度の第13回大会は、マレーシア科学大学が主催校となることが決定しました。

グローバル都市協力研究センター**では、アカデミックコンソーシアムの共通教育プログラムであるSUDP（Sustainable Urban Development Program）を昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により海外学生が来日できなかつたため、オンラインで実施しました。第2クオーター期間（7月5日～15日（土日除く9日間））に合計26名の学生（海外15名、本学11名）が参加しました。パソコン上でグループワークができるアプリを駆使し、現代都市が抱える諸問題についての学びと異なるバックグラウンドを持つ海外学生たちとの国際交流の場となりました。



アカデミックコンソーシアム：相原学長のオープニング



アカデミックコンソーシアム：アジア開発銀行駐日代表事務所の児玉治美代表の講演

* アカデミックコンソーシアム：横浜市立大学が事務局を務める都市の課題解決を目的とした大学間のネットワーク。マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、インドネシアの大学が参加

** グローバル都市協力研究センター：「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の3ユニットから構成され、アカデミックコンソーシアムにおける研究活動や学生交流を推進



アカデミックコンソーシアム：データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻長の後藤温教授の講演



SUDP：学生によるグループワーク

伊藤雅俊奨学生・成績優秀者特待生表彰式

本制度は、伊藤雅俊氏（本学卒業生／株式会社セブン&アイ・ホールディングス名誉会長）の寄附をもとに創設した制度です。寄附者の意向に沿い、前年度に極めて優秀な成績を収めた国際総合科学部経営学コースまたは会計学コースの4年次生及び国際商学部2、3年次生に授与されます。

また、成績優秀者特待生制度は、学業・人物とともに優秀な学部生に対し、学業への一層の努力を奨励するとともに、本学学生の学修意欲の向上を期待して創設した制度です。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、キャンパスごとに表彰式を執り行いました。11月1日に金沢八景キャンパスシーガルホールにおいて、伊藤雅俊奨学生及び金沢八景キャンパス所属学部の成績優秀者特待生を、11月5日には福浦キャンパスヘボンホールにおいて、医学部の成績優秀者特待生を表彰しました。式典では、奨学生・特待生への表彰状及び目録の授与のほか、代表学生による学修成果の発表を行いました。



YCU Best Student Award・YCU Student Award



本学の名誉を高め、学内の士気を高揚した学生及び学生団体に対して贈られる賞で、学術、芸術、社会貢献、スポーツおよび文化活動などの分野において優れた業績を上げた学生の功労を称えることにより、学生活動の活性化を目的としています。後援会からは、受賞者に副賞をお渡ししています。

令和2年度は応募総数14件に対し、学内での厳選なる審査の結果、YCU Best Student Award（写真上）を受賞されたのは、米学術誌「Jurnal of Molecular Biology」に筆頭著者として原著論文が、また英学術誌「Nature Communications」にも原著論文が掲載された生命医科学研究科 生命医学専攻 博士後期課程 2年（受賞当時）郡聰実さんと、行動経済学会ポスター報告（一般の部）と学部学生の部で奨励賞を受賞した中園研究室の皆さんです。

YCU Student Award（写真下）には、「Inflammation」誌に筆頭著者として論文が掲載された杉本遊さん（生命ナノシステム科学研究科）、日本生物物理学年会で学生発表賞を受賞した塩澤亜希さん（生命医科学研究科）、日本国際バレエフェスティバルのコンテンポラリーパートリー部門で第1位を獲得した神村結花さん（国際総合科学部）、第59回全日本学生アーチェリー個人選手権（RC部門）に出席した舛崎航希さんの4名が個人で受賞しました。

また、団体としては、健康経営×マーケティングコンペティションにおいて、出場した3チーム中1チームがコンペ全体の大賞、2チームが企業大賞を受賞した柴田典子ゼミ16期、2020年度宇宙法模擬裁判大会で総合優勝した瀬田ゼミ、USA Collegiate Championships2020で準優勝した応援団チアリーダー部 SEAGULLSの3団体が受賞しました。

表彰式は本学同窓会組織の進交会が、成績優秀な学部卒業生に贈る進交会賞表彰式と合同で、2021年3月18日に金沢八景キャンパスシーガルホールにて開催しました。

『YCU ボランティア・スタートアップ補助金』制度

学生団体がボランティアや社会・地域貢献活動を始めるときの支援として、ボランティア支援室が令和2年度から開始し、後援会から補助金を交付しています。

社会課題に取り組むことを通じて、学生の自主自律の精神を育成し、社会と大学を活性化することを目的としています。

令和2年度 採択団体「one by ONE」

初めまして、横浜市立大学学生ボランティア団体 one by ONE 代表の前田憲人、光山瑞穂です。このたびは補助金を通じて活動をご支援いただきまして誠にありがとうございます。私たちは、学習支援（現在はオンライン）をはじめイベント企画、本の寄贈などの活動を行なっています。いただいた補助金は、イベントで作る作品の費用、本の配達費、オンライン環境の整備などの費用に充てさせていただております。「授業楽しかった!」「イベント楽しかった!」というお子さんの声や「入院中の思い出になりました」といったご家族の声が私たちの活動の糧であり、これらは皆さまのご支援とご協力により成り立っております。ぜひ今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「one by ONE」代表 前田 憲人 光山 瑞穂

クラブ活動

■Second Wind Jazz Orchestra



Second Wind Jazz Orchestra 部長 森 久瑠未

横浜市立大学Second Wind Jazz Orchestraは、創設から50年以上の歴史を持つ横浜市立大学唯一のビッグバンドクラブです。現在約50名で活動しており、その大半がジャズ未経験・楽器初心者ということもあって、互いに教え合いながら練習をしています。他大生も多く所属しており、誰でも気軽にジャズ音楽を始めることができる魅力あるクラブです。

例年は、山野楽器主催のYBBC出場や国際ジャズオーケストラフェスティバル・ステラジャム出場など様々な場所での演奏を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症

の影響により、昨年は活動がほとんどできず、演奏も無観客でのオンライン配信というかたちをとらざるを得ない状況でした。しかし、今年は三井アウトレットパーク横浜ベイサイドでのイベント出演など、少しずつではありますが、演奏を聴きに来てくださつた方々に直接音楽を届けることができ、大変うれしく思っています。

コロナ禍でもこのような活動ができるのは、後援会の皆さまのご支援のおかげです。これからも部員一同練習に励んで参りますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

■オリエンテーリング部

オリエンテーリング部 部長 栗山 ももこ

オリエンテーリングは、地図上に示された複数のチェックポイントを地図とコンパスを頼りに、駆け抜けるタイムアタックスポーツです。チェックポイントからチェックポイントへの行き方は自由で、瞬時に行き方を見抜く思考力、走りながら地図を読む読図力、森で迷っても走り抜く精神力など、体力・走力だけでは勝負が決まらないのがこの競技の最大の魅力です。

昨年度はもっとも大きな大会の一つである日本学生オリエンテーリング大会が中止になるなど、モチベーション維持が難しい時期がありました。しかしながら、オンライン会議を駆使した活動を行うなど、少しずつ活動の機会を取り戻せ、今年度は全国大会に無事4名出場する事が決定しました。ほかにも、学生主体の大会も開催することもでき、コロナ禍という大変な状況ですが、後援会のご支援によりこのような多くの貴重な経験を得ることができました。これからも部員一同、それぞれの目標に向け切磋琢磨したいと思います。最後になりますが、改めて後援会の皆さまからのご支援に感謝いたします。



■弓道部

弓道部 主将 角坂 麻衣

弓道は武道の一つです。射の修練だけでなく、自分自身と向き合うことができ、人間的にも大きく成長できます。難しい印象があるかもしれません、部員のほとんどが大学から弓道を始めており、誰でも挑戦することができます。弓道部は現在32名で活動しています。今年はコロナ禍でしたが、多くの新入部員を迎えることができました。



弓道は1人で行うものというイメージがあるかもしれません。しかし、試合には団体戦もあります。団体戦では数人で立ち(チーム)をつくり、立ちの総的中数で競います。仲間と一緒に戦うことは熱いものがあります。

新型コロナウイルス感染症の影響で稽古も制限されましたが、できる限りの稽古を行い、2021年の神奈川県学生弓道連盟春季大会には2チームが出場し、優勝、準優勝することができました。

このように稽古や試合に参加できることは、後援会の皆さまのおかげです。ありがとうございます。これからも結果を出せるよう、部員一同精進して参りますので、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

キャリア・就職支援の主な取り組み

現在は新型コロナウイルス感染症の影響により、相談対応やイベント開催、インターンシップなど、取り組みの一部をオンラインで実施しています。

キャリア・進路相談

専門のキャリア・コンサルタントを配置し、マンツーマンで相談に応じています。学部1年次より利用可能で、希望する進路や将来のキャリア像にあわせて学生の自立をサポートしていきます。また、エントリーシート添削・模擬面接など、就職活動の具体的なアドバイスも行います。



キャリア支援イベント

1年を通して様々な就職・キャリアに関するイベントを開催しています。就活年次生向けの就職対策講座はもちろん、低学年次生向けのキャリアオリエンテーション、公務員講座（有料）、理系学生向けの進路ガイダンスなど、学生の多様なニーズにあわせたイベントを実施しています。

イベント詳細については、12ページをご参照ください。

キャリア形成実習

主に低学年次生を対象に、仕事や就職だけでなく、より広い視野で主体的にこれからのキャリアについて考えることを目的とした正課科目です。

●キャリアデザイン

キャリアに関連する様々なテーマ（大学での過ごし方、自分の強み、etc..）を設定し、ディスカッションやグループワークを行います。時には卒業生など、社会で活躍する講師を招き、大学生活の過ごし方について振り返ります。これらを通して、豊かなキャリアを築くために大切な視点や考え方について、皆と一緒に考えていきます。



●プレ・インターンシップ

インターンシップへ参加する際に求められる素養と力を習得する科目です。ビジネスマナーやコミュニケーションスキルといった多様な人材と協働する力を獲得します。

●横浜の産業と企業理解

横浜市内の大学で学ぶ外国人留学生とともに、横浜にある企業の研究を行います。地域産業の課題解決に向けたグループワークやプレゼンテーション、職場訪問、社員インタビューなどを通じて、横浜で暮らし働く魅力について考えていきます。

国内・海外インターンシップ

民間企業から官公庁まで幅広い分野で、国内外問わず就業体験をする場を提供しています。（学部1年次生：後期以降対象）

海外インターンシップについては、6ページ、8ページをご参照ください。

*海外インターンシップでは、学生の海外渡航費用の一部を後援会より助成をいただいている。



キャリアメンターモード

就職活動を終えた学部4年次生／修士2年次生（メンター）が自己の経験をもとに、後輩（学部3年次生／修士1年次生）に対して相談に応じたり、助言をしたりする制度です。

*学生同士の交流を目的として、年に1度開催している「内定者と就活生の集い」の開催費用を後援会より助成をいただいている。

キャリアサポート制度

卒業生がキャリアサポートとして在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。現在、キャリアサポート者は3,500名以上の登録があり、在学生はキャリア支援センターでサポート情報を探し、直接コンタクトをとることができるほか、「キャリアサポートと学生の集い」と題した交流会を通して、仕事のやりがいや就活のアドバイスを聞くことができます。

*キャリアサポートと学生の集いの開催費用は後援会より助成をいただいている。



書籍の貸出し

業界・職種研究や筆記試験、面接対策など就職活動に役立つ書籍のほか、キャリア全般に関する書籍、ビジネス誌などを学生に貸出しています。

*書籍の購入費用は一部、後援会より助成をいただいている。

就職支援パートナーシップ制度

首都圏以外の各地方で就職を希望する学生を支援するため、リターン・リターン就職希望地域の協定大学（下記13大学）で求人情報閲覧や就職相談、合同企業説明会への参加などが可能となる制度です。

国際教養大学、福井県立大学、長野県立大学、東京都立大学、都留文科大学、山梨大学、山梨県立大学、静岡県立大学、名古屋市立大学、大阪市立大学、兵庫県立大学、広島市立大学、北九州市立大学

入学から卒業までの流れ



※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントスケジュールなどは変更になる場合があります。

2021年度 キャリア支援センター開催イベント・講座

※後期の内容については、今後変更になる可能性があります。

開催時期	イベント・講座名	実施方法	主な対象学年			
			1年	2年	3年	大学院 1年(文系)
前期	新入生対象キャリアオリエンテーション	対面	○			
	キャリアオリエンテーション ※対象学年ごとに実施	オンライン		○	○	○
	夏季インターンシップオリエンテーション	オンライン	○	○	○	○
	夏季海外インターンシップ説明会	オンライン	○	○	○	○
	就職ガイダンス～横市大生・院生の就活・今年の就活の流れと市力を知る～	オンライン		○	○	○
	学内公務員講座説明会	動画		○	○	○
	インターンシップ選考対策講座	オンライン	○	○	○	○
	夏季国内(横浜市大枠)インターンシップ説明会	オンライン	○	○	○	○
	就職ガイダンス～横市大生の就活・先輩の成功戦略から学ぶ～	オンライン		○	○	
	就職ガイダンス～理系研究職の就活の現状と早期対策～	オンライン				○
後期	就職ガイダンス～自己PR ガクチカ基礎構成 研究職向け	オンライン				○
	業界研究入門～業界・企業理解のワザ～	オンライン	○	○	○	○
	理系進路ガイダンス ※理系学部3年生に実施	オンライン		○		
	就職ガイダンス～自己PR ガクチカ基礎構成 インターンに向けて～	オンライン		○	○	○
	就職ガイダンス～自己PR 編～ ※3本配信	動画		○	○	○
	就職ガイダンス～自己PR 目に留まる表現・構成戦略・動画やフリー用紙などへの対応・応用～	オンライン		○	○	
	就職ガイダンス～自己PR インターンで必要な志望動機の構成戦略	オンライン				○
	業界研究入門～インターンシップ市大枠企業による合同業界研究講座～	オンライン	○	○	○	○
	就職ガイダンス～インターンシップ選考 面接・エントリーシート戦略の基礎	オンライン				○
	就職ガイダンス～先輩内定者座談会 今だから聞いてしまおう夏休み前大質問会～	オンライン		○	○	
後期	就職ガイダンス～内定者に聞く 夏休み就活戦略	オンライン				○
	キャリアサポーターと学生の集い～多業種交流編～	オンライン	○	○	○	○
	就職ガイダンス～模擬面接～	オンライン				○
	後期キャリアオリエンテーション ※対象学年ごとに実施	オンライン	○	○	○	○
	就職ガイダンス～後期の就活戦略と今後の流れ～	オンライン		○	○	○
	夏季インターンシップ報告会	オンライン		○	○	○
	就職ガイダンス～履歴書の書き方編～ ※3本配信	動画		○	○	○
	業界研究入門～食品業界～	オンライン	○	○	○	○
	春季インターンシップ説明会	オンライン	○	○	○	○
	理系専門職交流セミナー～研究者を目指す方の業界研究～	オンライン				○
後期	就職ガイダンス～グループワーク ディスカッション対策の基本～	動画		○	○	
	就職ガイダンス～学内企業説明会(業界研究) キックオフ～	オンライン		○	○	○
	就職ガイダンス～早期選考に向けた書類・面接戦略など～	オンライン				○
	就職ガイダンス～模擬面接～	オンライン				○
	業界研究入門～IT・コンサルティング業界～	オンライン	○	○	○	○
	業界研究入門～製薬・医療業界～	オンライン	○	○	○	○
	業界研究入門～総合商社業界～	オンライン	○	○	○	○
	筆記試験対策講座	動画		○	○	○
	卒業生(社会人1年目)×内定者×就活生の集い	オンライン	○	○	○	○
	就職ガイダンス～面接試験対策編～ ※3本配信	動画		○	○	○
後期	就職ガイダンス～模擬面接～ 2日間	オンライン		○	○	○
	就職ガイダンス～グループディスカッション 課題別ロジック戦略 必勝術～	オンライン		○	○	
	2Q 海外インターンシップ説明会	オンライン	○			
	就職ガイダンス～模擬面接～ 3日間	オンライン		○	○	○
	学内合同企業セミナー事前講座	オンライン		○	○	○
	学内合同企業セミナー出展企業による模擬面接講座	オンライン		○	○	○
	キャリアサポーターと学生の集い～年代交流編～	オンライン	○	○	○	○
	就職ガイダンス～模擬面接～ 2日間	オンライン		○	○	○
	業界研究入門～公務員業界～	オンライン	○	○	○	○
	学内合同企業セミナー 8日間	オンライン		○	○	○
2月	ES対策講座	オンライン		○	○	○

※学部4年生・大学院2年生:「オンライン個別相談&求人紹介」・「横浜市内企業オンライン合同企業説明会」のイベント開催や個別での「キャリア・進路相談」などで就職支援を行っています。

- キャリアオリエンテーション
- インターンシップ関連イベント
- YCUの先輩力(卒業生・就職内定者)を活かしたイベント
- 就職ガイダンスシリーズ:自己PRや志望動機のつくり方、ES対策、グループワーク対策、面接対策など、就職活動で最大限の力を発揮するための技法やノウハウを学びます。

- 業界研究入門シリーズ:様々な業界の最前線で活躍するゲスト講師をお招きし、業界の概要、具体的な仕事内容、企業の特徴、求める人材像など、社会の仕組みや仕事の全体像について学びます。
- 学内合同企業セミナー関連:YCU学生を積極採用したいと考える200社以上の企業が集まり、企業別のブース説明を通じてYCU学生と出会います。このセミナーが内定のきっかけになることもあります。

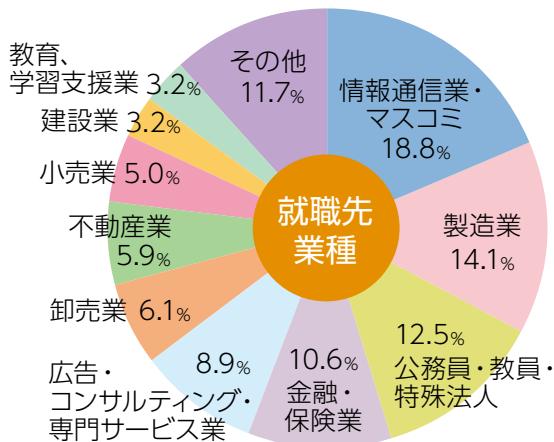
卒業生進路

卒業後の進路は就職をはじめ、大学院への進学や留学、資格取得など様々です。国際教養学系、国際都市学系、経営科学系の学生は85%以上が就職を希望し、理学系では約55%の学生が進学しています。

直近の令和2年度国際総合科学部卒業生全体の就職率は97.4%と、全国平均を1.4ポイント上回る数値となりました。グローバルに事業展開する民間企業のほか、横浜市役所や横浜銀行など横浜市内で働くことを希望する学生も多くおり、就職後の状況は各企業から高い評価をいただいております。

令和2年度の卒業生は、就職活動が新型コロナウィルスの感染流行の時期と重なり、企業説明会などの延期・中止やオンライン面接など、学生達は手探りの状態から開始し、例年とは全く異なる様相を呈した就職活動になりました。

■令和2年度
国際総合科学部 卒業生進路状況（業種別割合）
(2021年5月1日時点)

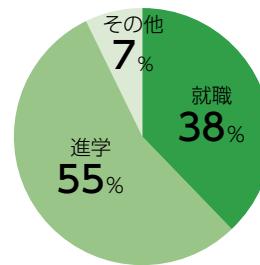
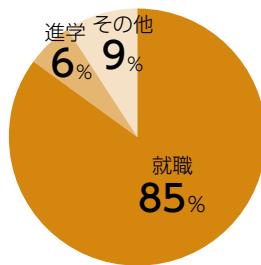
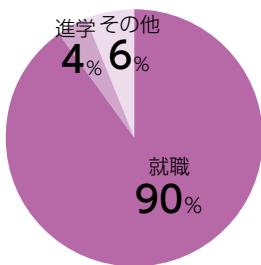
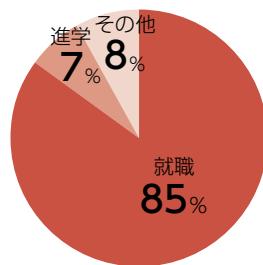


■令和2年度国際総合科学部 卒業生就職実績 (2021年5月1日時点)

※就職率=就職者数÷就職希望者数

国際教養学系		国際都市学系		経営科学系		理学系					
就職率	98.7%		就職率	99.2%		就職率	97.4%		就職率	90.5%	
進路	就職	進学	その他	進路	就職	進学	その他	進路	就職	進学	その他
人数	148	13	14	人数	127	6	9	人数	227	17	24
就職率	98.7%		就職率	99.2%		就職率	97.4%		就職率	90.5%	
進路	就職	進学	その他	進路	就職	進学	その他	進路	就職	進学	その他
人数	148	13	14	人数	127	6	9	人数	227	17	24

[進路内訳]



コロナ禍における「キャリア・進路相談」の学生利用状況

2020年3月以降、新型コロナウィルス感染症が徐々に拡大し、現在もまだ、収束の見通しが見えていない中、キャリア支援センターでは、専門のキャリアコンサルタントによる「キャリア・進路相談」において政府の方針に合わせた臨機応変な対応がとれる体制を整えており、学生の皆さん対面とオンラインで相談を受けることができます。

令和3年度前期では、延べ約740名の学生が「キャリア・進路相談」を利用しています。相談内容は、就職活動年次生の「面接対策」が約4割と最も多く、次いで3年次生のインターンシップに向けた「エントリーシート対策」の利用が多い状況です。

コロナ禍での学生生活は、オンライン授業や相次ぐイベントの中止など、友人や教員に会う機会が減り孤独を感じる状況下にあります。そのような中、学生が自身のキャリアや進路に関してひとりで悩むことがないよう、キャリア支援センターでは一人ひとりに寄り添いながら、解決に向けて客観的な助言や指導を行い、一歩を踏みだす支援に繋げていきます。

■2020(令和2)年度国際総合科学部 卒業生の主な就職先・進学先

国際教養学系

■製造業
アサヒグループ食品株式会社
NOK株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
株式会社SUBARU
株式会社東芝
TOTO株式会社
日産自動車株式会社
■金融・保険業
SBIホールディングス株式会社
株式会社ジェーシーピー
大同生命保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社ゆうちょ銀行
株式会社横浜銀行
横浜信用金庫
■建設・不動産業
株式会社一条工務店
株式会社長谷工リアルエステート

株式会社LIXILトータルサービス
■広告・コンサルティング・専門サービス業
バーソルテンプスタッフ株式会社
株式会社パンダイナムビジネスアーカ
株式会社日立ICTビジネスサービス
レイスクループ
■商社・卸売・小売業
株式会社京急百貨店
パラマウントベッド株式会社
株式会社ピックカメラ
フジモトHD株式会社(ピップグループ)
株式会社ワールドマン
■情報通信業・マスコミ
JFEシステムズ株式会社
株式会社システィナ
中日新聞社
富山テレビ放送株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本放送協会
富士通コミュニケーションサービス株式会社

株式会社USEN-NEXT HOLDINGS
■その他
ALSOK双栄株式会社
学校法人岩崎学園
英理女子学院高等学校(学校法人高木学園)
株式会社公文教育研究会
株式会社ジェイアール東日本物流
株式会社湘南ゼミナール
株式会社セルリアンタワー東急ホテル
綜合キャリアグループ
TOHOシネマズ株式会社
株式会社ニチイ学館
日本海ガスホールディングス株式会社
株式会社日本入試センター
NOVAホールディングス株式会社
国立大学法人山梨大学
横浜市立中学校
リゾートトラスト株式会社
■公務員・教員・特殊法人
伊賀市役所

岡山県庁
神奈川県教育委員会
鎌倉市役所
厚生労働省
千葉市役所
東京国税局
東京都特別区
株式会社湘南ゼミナール
名古屋市役所
農林水産省
八王子市役所
横浜市役所
■主な進学先(大学院)
横浜市立大学大学院
大阪大学大学院
東京神学大学大学院
東京都立大学大学院
北海道大学大学院
横浜国立大学教職大学院
立教大学大学院

国際都市学系

■製造業
京セラ株式会社
株式会社クボタ
株式会社クラレ
株式会社小松製作所(コマツ)
住友重機械工業株式会社
住友電気工業株式会社
ユニークリーバ・ジャパン株式会社
リコーアクノロジーズ株式会社
■金融・保険業
株式会社青森銀行
株式会社岩手銀行
SBIホールディングス株式会社
株式会社ジャックス
全国共済農業協同組合連合会
浜銀TT証券株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社横浜銀行
■建設・不動産業
株式会社アトリウム
株式会社大林組
株式会社コプラス

株式会社財産コンサルティング
株式会社サクセス・プロ
株式会社新昭和
積木ハウス株式会社
総合地所株式会社
株式会社日本エスコン
日本管理センター株式会社
日本工営株式会社
野村不動産アーバンネット株式会社
三井不動産ビルマネジメント株式会社
三井不動産ファシリティーズ株式会社
三菱地所コミュニケーション株式会社
株式会社レントライフ
■広告・コンサルティング・専門サービス業
株式会社NTTファシリティーズ
独立行政法人国際協力機構(JICA)
国際航業株式会社
東電タウンプランニング株式会社
株式会社船井総合研究所
■商社・卸売・小売業
岩谷産業株式会社

株式会社内田洋行
株式会社京急百貨店
国分グループ本社株式会社
株式会社ジャパンガスエナジー
鈴与商事株式会社
株式会社成城石井
株式会社LIXILトータル販売
■情報通信業・マスコミ
株式会社アイネット
株式会社エヌティティ・データ(NTTデータ)
大分合同新聞社
株式会社システィナ
株式会社スクウェア・エニックス
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
日本放送協会
バーソルプロセス&テクノロジー株式会社
株式会社富士通ビギー・エス・シー
■その他
株式会社近鉄エクスプレス
全国農業協同組合連合会
東京電力株式会社
医療法人社団同友会

西日本鉄道株式会社
日本赤十字社
丸全昭和運輸株式会社
国立大学法人横浜国立大学
■公務員・教員・特殊法人
青森県庁
大分県庁
外務省
財務省
東京国税局
東京都教育委員会
東京都特別区
日立市役所
法務省
北海道教育委員会
横浜市役所
■主な進学先(大学院)
横浜市立大学大学院
東京大学大学院
University of East Anglia, UEA
BARUCH College

経営科学系

■製造業
アイリストオーヤマ株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社オカムラ
カゴメ株式会社
株式会社クボタ
グンゼ株式会社
サーモス株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ソニー株式会社
帝人株式会社
日産自動車株式会社
富士フィルムビジネスソリューションズ株式会社
HOYA株式会社
本田技研工業株式会社
三菱電機株式会社
株式会社ヤマホーブルーリング
■金融・保険業
イオンフィナンシャルサービス株式会社
auフィナンシャルサービス株式会社
かながわ信用金庫
大和証券株式会社
日本証券金融株式会社
野村證券株式会社

株式会社東日本銀行
社団法人福岡県信用保証協会
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
三井住友信託銀行株式会社
株式会社ゆうちょ銀行
株式会社横浜銀行
■建設・不動産業
NTT都市開発株式会社
五洋建設株式会社
清水建設株式会社
大成建設株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社長谷工ライフルネット
三菱地所ハウスネット株式会社
株式会社横浜岡田屋
株式会社ルミネ
■広告・コンサルティング・専門サービス業
アケセンチュア株式会社
UUUM株式会社
株式会社日本総合研究所
株式会社ヒューブロ
株式会社ベイカレント・コンサルティング

■商社・卸売・小売業
岩谷産業株式会社
株式会社内田洋行
ENEOSグローブ株式会社
株式会社大塚商会
株式会社ジーイー
株式会社成城石井
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社ZOZO
龍定名古屋株式会社
株式会社ニトリ
日本マクドナルド株式会社
株式会社ユニクロ
■情報通信業・マスコミ
株式会社インテージ
NECソリューションズイノベータ株式会社
エヌ・ティ・イ・コミュニケーションズ株式会社
株式会社NTT東日本・南関東
株式会社オービックビジネスコンサルタント
KDDI株式会社
東日本電信電話株式会社
株式会社日立ソリューションズ
富士フイルムシステムズ株式会社
楽天株式会社

■その他
神奈川県農業協同組合中央会(JA神奈川中央会)
中部電力株式会社
株式会社日新
バーソルキャリア株式会社
北海道農業協同組合中央会(JA北海道中央会)
■公務員・教員・特殊法人
青森県庁
神奈川県庁
宮内省
厚生労働省
国土交通省
東京国税局
東京都特別区
新潟県
防衛装備庁
山梨県(山梨県人事委員会)
横浜市役所
■主な進学先(大学院)
横浜市立大学大学院
東京大学公共政策大学院
一橋大学国際・公共政策大学院
北海道大学大学院

理学系

■製造業
株式会社資生堂
株式会社SUBARU
東洋製罐グループホールディングス株式会社
日本電気株式会社(NEC)
日本ヒューレット・パッカード株式会社
株式会社日立製作所
株式会社富士通ゼネラル
マツダ株式会社
■金融・保険業
株式会社静岡銀行
第一生命保険株式会社

■建設・不動産業
旭化成不動産レジデンス株式会社
■広告・コンサルティング・専門サービス業
シミック株式会社
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
株式会社野村総合研究所
■商社・卸売・小売業
日本調剤株式会社
富士フイルムメディカル株式会社
リコーアクション株式会社
■情報通信業・マスコミ
株式会社エヌ・ティ・イ・データ(NTTデータ)

兼松エレクトロニクス株式会社
Sky株式会社
富士通エンジニアリングテクノロジーズ株式会社
株式会社ベネッセコーポレーション
■その他
株式会社日立物流
福山通運株式会社
学校法人武相学園武相中学・高等学校
北海道電力株式会社
株式会社リクルートR&Dスタッフイング
■公務員・教員・特殊法人
神奈川県教育委員会

神奈川県庁
川崎市教育委員会
横浜市教育委員会
横浜市役所
■主な進学先(大学院)
横浜市立大学大学院
宇都宮大学大学院
大阪大学大学院
東京大学大学院
東京工業大学大学院
東京農工大学大学院
奈良先端科学技術大学院大学

横浜市立大学後援会会則（新）

<p>（名称） 第1条 本会は、横浜市立大学後援会と称する。 （事務局） 第2条 本会は、事務局を横浜市立大学金沢八景キャンパス内に置く。 （目的） 第3条 本会は、横浜市立大学の教育研究事業及び学生生活の支援等を行うことを目的とする。 （事業） 第4条 本会は、前条に定める目的を達成するため、次の事業を行う。 （1） 学生の教育研究活動への支援 （2） 学生の学業、課外活動及び福利厚生事業に対する助成 （3） 学生の国際交流事業に対する支援 （4） 学生教育に関する講演会・研究会等の開催 （5） その他目的達成に必要と認められる事業 （会員） 第5条 本会は、次の会員をもって構成する。 （1） 横浜市立大学に在学する学生（医学部2年次以上及び医学研究科を除く。）の保護者又は学生本人（以下「1号会員」という。） （2） 横浜市立大学の教職員及びその退職者で本会の事業を支援する者（以下「2号会員」という。） （3） その他本会の事業を賛助する者（以下「3号会員」という。） （役員の設置） 第6条 本会に、次の役員を置く。 （1） 理事 15名以上20名以内 （2） 監事 2名以内 2 理事のうち1名を会長、1名を副会長とする。 3 理事のうち2名を業務執行理事とする。 （役職者の選出） 第7条 前条に定める役員のうち、会長、副会長、業務執行理事は、理事の互選により選出する。 （役員の任期） 第8条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。 （役員の任務） 第9条 役員の任務は、次のとおりとする。 （1） 会長は、本会を代表し、業務を総理する。 （2） 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。 （3） 業務執行理事は、本会の業務を処理する。 （4） 監事は、本会の業務及び会計を監査する。 （顧問） 第10条 本会は、横浜市立大学との連携を密にするため、顧問を若干名置くことができる。 2 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。 3 顧問は、会長の諮詢に応じるとともに、会長の求めにより理事会に出席して意見を述べることができる。 （職員） 第11条 本会の事務を処理するために、事務局に職員を置く。 2 職員は、理事会の承認を得て会長が委嘱し、有給とする。 （会議等） 第12条 本会の会議は、総会及び理事会とする。 2 総会及び理事会の議長は、会長がこれにあたる。 （総会の決議事項） 第13条 総会は、年1回開催し、次の事項について決議する。 （1） 役員の選任</p>	<p>（2） 事業報告及び決算の承認 （3） 会則の改正 （4） その他本会の運営に関し必要と認められる事項 2 会長は、必要と認めるときは、臨時総会を開催することができる。 3 総会は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は議長が決定する。 （理事会） 第14条 理事会は、理事全員をもって構成する。 2 監事は、理事会に出席し、意見を述べる。 （理事会の決議事項） 第15条 理事会は、事業計画、予算、決算及びその他本会の運営に必要な事項について決議する。 2 理事会は、理事の半数以上の出席で成立する。 ただし、出席できない場合は、委任状をもってこれに代えることができる。 3 理事会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は議長が決定する。 （会計） 第16条 本会の経費は、会費、寄附金及びその他の収入をもってこれにあてる。 （会費） 第17条 本会の1号会員は、入学時に会費を納入することとし、既納の会費は返還しない。 2 会費の額は、次のとおりとする。 （1） 学部においては学生1名につき、50,000円（ただし、医学部1年次生については15,000円） （2） 大学院博士前期課程及び博士後期課程においては院生1名につき30,000円（ただし、博士前期課程から博士後期課程に進学した者にあっては20,000円） 3 2号会員及び3号会員については、会費の納入を要せず、隨時、本会の事業を支援、賛助するための寄附に努めるものとする。 （会計年度） 第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。 （会則の改正） 第19条 この会則の改正は、総会で行う。 2 改正を議決するには、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。</p> <p>附則 本会則は、平成17年4月1日から施行する。 2 平成17年4月1日現在、会員である学生の保護者は、当該学生が卒業するまでの間は、会員とする。 附則 本会則は、平成19年6月2日から施行する。 附則 本会則は、平成22年6月26日から施行する。 附則 本会則は、平成26年7月5日から施行する。 附則 本会則は、平成29年7月1日から施行する。 附則 本会則は、令和元年7月6日から施行する。 附則 本会則は、令和3年8月10日から施行する。</p>
---	---

横浜市立大学後援会事務局

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学内
TEL : 045-787-2397 e-mail : kouenkai@yokohama-cu.ac.jp
Http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~kouenkai/